

倉敷市議会議員 ～大橋たけよし～



市議会だより

発行責任者：大橋 健良
連絡先：
〒712-8066
倉敷市水島高砂町1番7号
TEL (086)448-8833
FAX (086)444-4837
自宅：倉敷市東富井788-8

[2月定例会] 2月14日～3月15日までの31日間で審査

倉敷市議会2月定例会が2月14日～3月15日の31日間で開催されました。今議会では、初日に令和5年度一般会計補正予算などを含め、予算関係8件、条例関係1件、事件関係3件、専決1件、報告3件が提案報告され、専決1件と報告3件は当日承認・了承し、2日目に令和5年度一般会計補正予算など都合12件を可決致しました。引き続き、令和6年度一般会計当初予算などを含め、予算関係10件、条例関係35件、事件関係4件、選挙関係3件の都合52件が提案されました。

そして、代表質問2日間、一般質問4日間を行い、一般質問最終日には、令和5年度一般会計補正予算の予算関係1件、条例関係1件が追加され、各常任委員会にて審査し、本議会において、すべての議案について可決、当選となりました。また、議会最終日も条例関係5件、人事関係2件も追加され、可決同意致しました。

[令和5年度一般会計補正(追加含む) 歳出]

102億9,400余万円の増額 累計2,331億3,800余万円

今回の補正予算は、国の補正予算「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を活用して実施する事業を令和6年度当初予算から前倒して計上されたほか、年間を通じて過不足が見込まれる経費などが中心に計上されました。

歳出では、まず、国の補正予算を活用して実施する小・中学校のトイレ洋式化や校舎等照明LED化を行うための経費、学校園の外壁改修・屋上防水に要する経費、下津井中学校を改修し義務教育学校を整備するための経費、(仮称)倉敷学校給食共同調理場を整備するための経費、街路事業費などが計上されました。

次に、ふるさと納税推進事業費、就労継続支援事業費、生活扶助給付事業費の追加分、児童手当給付事業費、児童扶養手当給付事業費の減額分など、年間を通じて過不足が見込まれる経費や、南海トラフ地震の津波浸水想定区域に避難喚起のための看板を設置する経費、避難所開設時の避難生活用品や災害対応用の資機材を購入するための経費、高齢者のブレーキ踏み間違いによる急発進を抑制する装置の設置費用に対する補助金、今後の市債の償還に備えるための減債基金積立金などが計上されたほか、企業版ふるさと納税を活用した映画撮影誘致支援事業費や義務教育学校施設整備事業費などについて債務負担行為の設定を行うとともに、適正な工期等を確保するための繰越明許費が計上されました。

一方、**歳入では**、増額分として市税や地方交付税、国庫支出金、市債、モーターボート競走事業会計からの繰入金などが計上されたほか、減額分として地方消費税交付金などが計上され、財政調整基金により財源の調整がされました。**この結果、一般会計では102億1,900余万円の増額となり、累計では2,330億6,300余万円(前年度同期比98.4%)**となりました。

そして、**一般質問最終日に追加で令和5年度一般会計補正予算(第9号)が提案**されました。その内容は、**歳出では**、大高小学校給食調理場・校舎整備事業について、地中埋設物撤去やアスベスト除去の必要が生じたことなどに伴い、委託料の追加分が計上されました。

歳入では、市債が計上されたほか、財政調整基金により財源の調整をしており、**この結果、一般会計では74,896千円の増加となり、累計では2,331億3,800余万円(前年同期比98.4%)**となりました。

[令和6年度一般会計当初 歳出] 2,039億3,900余万円(前年度比 100.8%)

令和6年度当初予算は、年度初頭に市長選挙が予定されていることから、扶助費等の経常的な経費や、債務負担行為に基づく経費など継続的な事業に要する経費が中心に計上された骨格予算として編成されました。このため、新規事業や政策的な判断を伴う経費については、年度当初から予算化する必要があるものを除き、今後の補正予算で検討することとなっています。ただし、「第7次総合計画」や「公共施設個別計画」に掲げた施策のうち早急に対応すべき事業、高梁川流域自治体と連携して取り組む事業、市民生活に直接関わる課題に対応するための施策に伴う事業については、当初予算に計上されました。

歳入については、国が実施を決定した定額減税の影響や法人の減益により市税全体で約27億円の減額が見込まれていますが、一方、地方特例交付金で定額減税相当額の約21億円増額、地方交付税とその代替財源である臨時財政対策債は合計で15億円の増額を見込んでいます。なお、本来であれば骨格予算で財政調整基金の取り崩しは行いませんが、物価や人件費の上昇に見合うほど歳入が増加していないため、財政調整基金の取り崩しにより財源の調整が行われました。

歳出については、子ども・子育て・教育に関する施策として、通院・入院ともに中学3年生までの医療費を無料化する子ども医療費助成事業費、出産後1年以内の母親と乳児が保健指導を利用する際の負担を軽減する産後ケア事業費、民間認定こども園等の運営に対する施設型・地域型保育給付事業費、放課後児童クラブ実施事業費、ふれあい教室事業費などが計上されました。

文化・産業に関する施策として、インバウンドや首都圏からの誘客につながる MICE 誘致推進事業費、大阪駅に直結した大型複合施設に出店する大阪アンテナショップ事業費、国指定史跡である榑築遺跡保存整備に向けた給水塔撤去経費、「米粉の力」普及・啓発応援事業費、農業用水管理の省力化や高度化を図るため水路や排水機場などに水位計やカメラを設置するための経費、水島港の利用拡大を図る水島港振興事業費、企業誘致推進事業費、G7倉敷宣言を踏まえたイベントや講演会を行う G7倉敷宣言推進事業費などが計上されました。

生活環境・防災・都市基盤整備に関する施策として、緊急告知 FM ラジオ購入費用の補助要件を緩和して助成するための経費、ZEH（ゼッチ）・太陽光発電等導入促進事業費、電気自動車等導入費補助事業費、倉敷西部クリーンセンター整備事業費、水島地区公共施設再編整備事業費、山陽ハイツ跡地を活用した都市防災公園及び複合施設整備事業費、浸水対策事業費、ため池防災減災事業費、倉敷駅周辺第二土地区画整理事業費などが計上されました。

保健・医療・福祉に関する施策として、五種混合ワクチンが定期接種化する予防接種事業費、入院中の小児慢性特定疾病児童等のオンライン学習支援や相互交流を行うための経費、複合的な課題を抱える相談に対する関係機関の連携支援を強化する重層的支援体制整備事業費、医療扶助オンライン資格確認推進事業費、医療・介護連携フレイル予防事業費、老人福祉施設整備助成事業費などが計上されました。

SDGs・行財政などに関する施策として、SDGs 推進事業費、防災危機管理センター棟や本庁舎の長寿命化、中央図書館を核とした複合施設棟などの庁舎等再編整備事業費、高梁川流域 DX 推進事業費、(仮称)水島緑地福田公園屋内プール整備事業費などが計上されました。

この結果、**一般会計の当初予算額は、2,039億3,900余万円、前年度と比較すると17億600余万円、率にして約0.8%の増加**となりました。

倉敷市の財政は、今後も社会保障関係経費が増加するなか、防災・減災対策への取組、公共施設個別計画の推進、SDGs や脱炭素化など持続可能な社会に向けた取組など、積極的かつ早急な取組が必要であります。また、**急激な社会経済情勢の変化やその時々に応じた行政需要に的確に対応するため**、「第7次総合計画」、「行財政改革プラン2020」を着実に推進し、**将来に向け持続可能な財政運営に努めてまいります**とされており、

○倉敷市議会ホームページ ▶ <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/gikai/>

○議会映像配信（生中継・録画中継） ▶ <http://kurashiki.media-streaming.jp>

＜一般会計当初予算＞ ～主な歳出の概要～

【令和6年度当初予算関連経費】

保育士処遇改善事業 **【1億3,052万円】**



喫緊の課題である保育士を確保するための緊急対策として、市独自に保育所等運営法人に対して、保育士1人あたり月額平均5千円の給与加算等により、処遇改善を行います。
 ※対象 ・民間認可保育所
 ・民間認定こども園
 (保育所型・幼保連携型)

子ども医療費助成事業 **【22億7,007万円】**



通院・入院ともに中学校3年生までの医療費を助成（無料化）します。

産後ケア事業 **【944万円】**



産後ケアを必要とする出産後1年以内の母親と乳児が、宿泊、日帰りまたは訪問による保健指導を利用する際の負担を軽減します。

※新たに訪問型産後ケアを実施します。
 ※委託料の増額により利用者の自己負担をさらに軽減します。
 (従来より宿泊5,000円分、日帰り2,500円分減額)

予防接種事業 **【12億5,692万円】**



予防接種法に基づく定期的予防接種を行います。
 ※五種混合（四種混合+ヒブ）ワクチンが定期接種化されます。また、骨髄移植等の影響で定期予防接種の効果が期待できないと判断された方へ再予防接種費用を助成します。

（仮称）倉敷学校給食共同調理場整備運営事業 ※2月補正予算前倒し計上 **【17億1,718万円】**



(完成イメージ図)

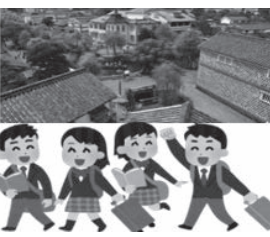
PFI手法により（仮称）倉敷学校給食共同調理場を整備運営します。
 (令和6年8月稼働開始予定)

学校トイレ洋式化改修・校舎等照明LED化事業 ※2月補正予算前倒し計上 **【15億1,400万円】**



学校のトイレ洋式化改修及び校舎等照明のLED化を行います。
 令和6年度は小学校11校、中学校5校で実施します。

修学旅行誘致事業 **【1,441万円】**



修学旅行の誘致拡大を目的として、市内に宿泊する児童・生徒に1泊1人当たり2,000円（新規校6,000人分）を助成します。また、新たに海外からの修学旅行を誘致するため、個別相談会に出展します。

ふるさと納税推進事業 **【4億9,751万円】**



ふるさと納税に伴う寄附金の受付、特産品などの返礼品進呈等を行うとともに、ふるさと納税を通じて、倉敷の魅力を広げ発信します。

農作物鳥獣害防止事業 **【3,947万円】**



有害鳥獣防護柵設置に対する助成や有害鳥獣をワナ等を用いて駆除することで農作物の被害防止を図ります。
 また、新たに鳥獣害対策の講習会を開催します。

大阪アンテナショップ事業 **【428万円】**



大阪駅に直結した大型複合施設のアンテナショップ集積フロアに出店します。
 令和6年7月オープン予定

企業誘致推進事業 **【11億8,140万円】**



市内産業の活性化、競争力強化、雇用の維持・創出を図り、税収の増加につなげるため、工場等の新增設等を行う事業者への助成を実施します。
 ・設備投資促進奨励金（70件）・本社機能移転等促進奨励金（2件）（東京23区から移転の場合は奨励金と限度額が2倍）・オフィス開設等奨励金（6件）

G7倉敷宣言推進事業 **【70万円】**



「G7倉敷労働雇用大臣会合」の倉敷宣言を踏まえ、高校生を対象とした働くことへの理解を促進するためのイベントや倉敷市における労働雇用の歴史を顕彰する講演会を開催します。

都市防災公園及び複合施設整備事業 【4億744万円】



山陽ハイツ跡地を活用して、都市防災公園及び会議室、文化練習室等の複合施設を整備します。

整備期間
令和5年2月～
令和7年5月

緊急告知FMラジオ購入費補助事業 【1,890万円】



緊急情報の入手手段を多様化するため、緊急告知FMラジオの購入費の一部を助成します。

対象：避難行動要支援者、スマートフォンを所有していない方（1世帯1台限り）

補助額：税込2,000円で購入できるように差額を助成

児島地区公共施設再編整備事業 【3,432万円】



倉敷市立短期大学

児島地区の老朽化した公共施設（市立短期大学ほか）の再編整備を行うにあたり、事業者選定等支援業務を委託します。

**水島地区公共施設再編整備事業 【1,496万円】
【債務負担行為 3,486万円】**



水島公民館

水島地区の老朽化した公共施設（水島公民館ほか）の再編整備を行うにあたり、基本計画策定等支援業務を委託します。

倉敷西部クリーンセンター整備事業【87億9,766万円】



(完成イメージ)

倉敷西部クリーンセンターを整備します。
(令和7年4月供用開始予定)

玉島環境センター整備事業 【4億523万円】



(完成イメージ)

倉敷西部クリーンセンターの敷地内に玉島環境センターを移転新築します。
(令和7年4月供用開始予定)

バス路線維持費補助事業 【8,384万円】



バス路線の維持及び幹線等の利便性を確保するため、バス運行に要する経費を助成します。

(補助要件)

- ・運行回数：4回/日以上20回以下
- ・輸送量：50人/日以下
- ・収支率：(経常収益/経常経費)が70%以下など

コミュニティタクシー事業 【3,422万円】



交通不便地域の移動手段を確保するため、コミュニティタクシー運行に要する経費を助成します。

・運行地区 10地区

**(仮称) 水島緑地福田公園屋内プール整備事業 【25億7,930万円】
【債務負担行為 39億2,538万円】**



(完成イメージ)

老朽化した屋内水泳センターを水島緑地福田公園水泳場に統合し、新たな屋内プールを整備します。

国民スポーツ大会冬季大会の開催 【7,199万円】



国民スポーツ大会冬季大会でスケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会を開催します。

令和7年1月～2月にヘルスピア倉敷アイスアリーナ等で開催予定

電気自動車等導入費補助事業 【4,350万円】



EV・プラグインハイブリッド自動車及び普通充電設備・V2H充放電設備の導入促進のため助成を行います。

(補助額)

- | | |
|------------------------|-------------|
| ・電気自動車 15万円/台 | (予定台数) 200台 |
| ・プラグインハイブリッド自動車 10万円/台 | (予定台数) 100台 |
| ・普通充電設備 上限10万円/基 | (予定基数) 5基 |
| ・V2H充放電設備 上限10万円/基 | (予定基数) 30基 |

ZEH [ゼッチ]・太陽光発電等導入促進事業 【1億2,502万円】



ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及や、住宅用太陽光発電システム等の導入を促進するため助成を行います。

※ ZEHとは、年間消費エネルギー量が正味で概ねゼロ以下の住宅
・ZEH（新築住宅等）20万円/戸（予定戸数）40戸、・太陽熱利用システム（新築・既築住宅用）上限3万円/件（予定件数）20件、・家庭用燃料電池（エネファーム）（新築・既築住宅用）上限7万円/台（予定台数）50台、・リチウムイオン蓄電池（新築・既築住宅用）2万円/kWh（上限4kWh）（予定件数）500台、・太陽光発電システム（既築住宅用のみ）7万円（※）/kW（上限4kW）（予定件数）200件、2万円/kW（上限4kW）（予定件数）100件 ※ FIT 制度（固定価格買取制度）で、売電する場合は対象外で令和7年度までの予定